



給食を食べながら、子どもの学びに触れて。

6月からこども園、小中学校で、地域住民や保護者の方に給食を食べていただきながら、子どもたちの活動や学びの様子をご覧いただくスクールランチプロジェクトがスタートしました!!! おかげさまで3園校で合計22名の方に参加いただきました。こども園では、密を避けながら、年長さんと同じ空間で会食。人懐っこい子どもたちが手を引いて案内したり、最後は手作りのプレゼントをしたりするなど、ほほえましい光景が見られました。ランチプロジェクトはお申込みいただければ、どなたでもご参加いただけます(給食費のみ実費負担)!!! **次回はこども園が9月16日(金)、小学校は9月30日(金)です**(中学校は未定)。既に5名の申込を受け付けております。ご希望の方はお早めにご連絡ください!!!



こども園自慢の魚料理に舌鼓!!! 子どもたち手作りのメダルのプレゼント! 小学生が片づけを手伝っていました。

県内初となる子どもたちと大学生との「絆」協定を締結しました!!!

7月9日(土)のNHK東北版ニュースでも取り上げられましたが、先日、福島大学生と楡葉の子どもたちとの「絆」協定が締結されました!!! これは県内初となる取組です! 今後はこども園や小中学校の様々な分野での活動で、福島大学生が活動を強力にサポートして下さいます。当日は第一回目ということで、食農学類の教授や学生ら16名が来町し、カブトムシを園児や小学生にプレゼントしてくれました。**8月3日には音楽科の学生による演奏会も小学校で開催されます。**(大人も参加可能です!!!) 活動を通して、ふるさと楡葉・



福島大学の学生らと子ども代表の楡葉小学校5年生3人

福島の子を共に創るパートナーとして、連携を強めます!!!



福大生による生き物講座



保護者の方も多く参加しました



福大生と楽しく遊んでいます

ふるさと榊葉でのキャリア形成を促進!!!

小中学生を対象としたキャリアスクールがスタート!!!

榊葉の子どもたちが、大人になってもふるさと榊葉を愛し、ふるさとで働きたいと思ってほしいとの願いから、協働センターでは町内の施設や団体で小中学生（小学生は5・6年生のみ）が職業体験をできる事業を夏休みからスタートさせます!!! 第一弾はあおぞらこども園とJAEA、そして福島大学です。既に20名近い申込を受けており、受入側の施設も準備を進めています。多様な職業に触れ、榊葉の将来のキャリア形成につながるいいなと思います。



キャリアスクールの受け入れをしてみませんか?

協働センターでは12月末の冬休みや3月末の春休みのスクールを計画中です!!! 町内の施設や店舗、団体で、「ぜひうちでも受け入れたい!!!」というニーズがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

キャリアプログラム No.2

JAEA 榊葉遠隔センター ロボット運用技術師

榊葉町にあるJAEA榊葉遠隔センターは、最先端技術が集められた国立の施設です。ミッションは3.11の後の原発事故災害による原発の廃炉作業です。これまでも見学学習などを計画してきましたが、今回、施設で活躍するホンモノのロボットに触れ、最先端技術の担い手を育てることとなりました。榊葉町の学生だからこそこのスペシャルプログラムです!!!

- ① 定員・・・小学生高学年児童12名、中学生3名
- ② 日時・・・小学生対象 令和4年8月4日 13:30～15:00
中学生対象 令和4年8月5日 13:30～16:30
- ③ 場所・・・国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
- ④ 費用・・・榊葉小学校・榊葉中学校で委員会・顧問となり、教育委員委が承認した返却車で現地と移動します。
- ⑤ 服装・・・ジャージなど動きやすい服装
- ⑥ 内容・・・小学生対象：ドローンと水中ロボットの操作訓練
中学生対象：緊急時対応ロボットの点検・整備、研究開発業務の体験
- ⑦ ポイント・・・当日は操作できない貴重なロボットを操作できます。

役場×学校 子ども議会を開催!!!



学校教育支援部門では、2週間にわたって授業支援してきた社会科学習の成果として、子ども議会を開催しました!!! 子どもたちにイメージで町について語るのではなく、町の現状やビジョンをしっかりと理解してから取り組んでほしいとのまちとしての思いから、今年度も協働センターで作成したオリジナルの副教材を使って、町の振興計画についてしっかりと学習し政策企画課の協力の下、事業担当者の説明等も加えながら、深い学びを実現。子どもならではの鋭い意見が多く、さらに今年は答弁に対して追加で質問するなど、高い意欲も見られました。次回は来年6月の予定。センターでは戦争教材の作成も進行中です。子どもたちに学んでほしい町の歴史や活動もぜひお寄せください。

(3-4) 助け合い支え合う、みんなにやさしいまち (福祉分野)

町の課題

- ◆ 支援や介護が必要なお年寄りが増えてきている。そうしたお年寄りを支える福祉にかかわる人が少なくなっている。
- ◆ 赤ちゃんを産んだお母さんが、仕事をしやずいかならなくなっている。

解決のための主な施策

- ▶ 全世代を対象とした地域全体のケアシステムをつくらせていく。
- ▶ 性別によって区別されない社会をつくる。
- ▶ 子育てしやすいまちになるため、こども園などを充実させていく。

10年後の目標!! (画付していること)

全ての町民が安心して暮らすことができ、出産や子育てもすることができるまち

【地域学校協働センターからのお知らせ】

○ 6月23日(水)のNHKはまなかあいづにて、小学生の登校時の見守りボランティアの皆さんの様子が特集として放送されました!!! 放送の反響は大きく、協働センターにも「他県では当たり前なのがあたりまえでないことが分かった。」「3.11の影響は未だ浜通りでは大きいことが分かった。」「榊葉のコミュニティ再生が、他の双葉郡の参考となっている。」といったご意見をいただきました。センターでは引き続き、見守りボランティアを募集しております。散歩ついでに、ごみ捨てついでにといった「ながらボランティア」も、子どもたちの登下校の安全に大きく繋がります。一人でも多くの皆様のご協力をお願いいたします。

【お問合せ先】 榊葉町地域学校協働センター（榊葉小学校1階） 猿渡・青木
（直通）070-7421-5156 （教育委員会）0240-23-5515 kyoudou-n@town.naraha.lg.jp